

第 74 回 火力専門委員会 溶接分科会 議事録

- I. 日 時：2017 年 4 月 21 日（金） 13 時 30 分～16 時 50 分
II. 場 所：東京大学工学部 4 号館 424 会議室
III. 出席者：青山(東大)、樺田(MHPS)、倉富(東電 FP)、逢澤(MHPS 日立)、原田(東芝)、
長谷川(発電技検)、大橋(中電)、辻(関電)
欠 席：幅野(IHI)、山下(神鋼)、飯島(日溶協)、水谷(東工大)、飯田(東電 FP)
オブザーバー：吉村(MHPS)
事務局：原

IV. 配付資料

- 74-1 第 73 回溶接分科会議事録(案)
- 74-2 溶接分科会委員名簿
- 74-3 第 79 回火力専門委員会報告
- 74-4 第 81 回発電設備規格委員会議事録(案)
- 74-5 溶接安全管理審査に係る法令等の改正(情報共有)
- 74-6 用語集
- 74-7 欠番
- 74-8 レビュー票(Ⅶ章 QW、ダブルチェック結果反映、東電 F P)
- 74-9 審議履歴表
- 74-10 新旧対比表、変更箇所一覧の書式

V. 議事

1. 前回議事録確認 [資料 74-1]
前回議事録(案)について確認を行い、議事録(案)が承認された。
2. 分科会委員・役員の承認 [資料 74-2]
 - 出席委員全員の賛成により、青山委員(主査)、幅野委員、原田委員、長谷川委員を再任候補として、次回火力専門委員会へ推薦することが承認された。
3. 報告事項 [資料 74-3]
 - (1)火力専門委員会報告
2 月 22 日開催の第 79 回火力専門委員会の主要項目が報告された。
 - 火力専門委員会委員、各分科会委員の承認
 - 第 73 回溶接分科会報告
 - ・ダブルチェックの進め方の再確認
 - ・発電用火力設備規格 201X 年版レビュー票の審議状況
 - ・現在検討中の規格概要説明資料に関する意見交換

○審議結果報告

- ・高クロム鋼の寿命評価式についての事例規格対応について（ご意見伺い）
- ・火技解釈第 167 条解説文案について（ご意見伺い）

(2)規格委員会報告 [資料 74-4]

3月9日開催の第81回発電用設備規格委員会の主要項目が報告された。

- ・火力専門委員会(2/22 開催)報告

(3)溶接事業者検査（火力設備）の解釈等の一部改正について(情報共有) [資料 74-5]

溶接安全管理審査を使用前・定期安全管理審査に統合するなどの安全管理審査制度の見直しが行われたため、この情報共有を行った。

4. 審議事項

(1)用語集の確認 [資料 74-6]

倉富幹事が、3分科会共通の用語集について、新たな追記・変更箇所の確認を行った。opacking gas、gas packing については、両方ともバックングガスとしているが、これでよいか再度確認する。

(2)レビュー票ダブルチェック結果反映

1) レビュー票（ダブルチェック結果反映、東電F P ） [資料 74-8]

Ⅶ章 QW

倉富委員が、ダブルチェック結果を反映したレビュー票のうち、審議が必要と判断した項目について説明した。

○QW-402.3

- ・ the nominal composition of the backing … 「裏当ての標準成分」などに見直す。

○QW-403.9

- ・ single-pass, multipass については、火技解釈では一層、多層が使われているので、この表現でよいかを再度確認する。

○QW-410.30

- ・ upset dimension … 「摩擦寄り代」としているが、単に「寄り代」とした方が一般的かと思われるため、再度確認する。

(3)新旧対比表、変更箇所一覧の書式と今後の進め方

前回の分科会において事務局が提示することになった新旧対比表、変更箇所一覧の書式案について説明し、今後の進め方について審議を行った。

○新旧対比表の書式案については標準的な例を示したものであるが、分科会三役が構造分科会と調整して、その結果を各委員に連絡する。

○新旧対比表の記載範囲は、誤字等の編集上の修正、技術的な修正など、2015年追補版から変更になった箇所は、漏れなく対象とする。編集上の修正、軽微な技術的な修正は、これのみを決議する場合書面投票は必要ないが、改訂版であるので、

全体を一括して書面投票にかけることになる。

○今後の進め方については、以下のとおりとする。

- ①引き続き、メールベースで連絡を取りながら、ダブルチェック、ダブルチェックの結果反映の作業を進める。
 - ②担当委員とチェッカーが合意して、ダブルチェックの結果の反映が修了したレビュー票については、改訂版の原稿が確定したものとして、そのレビュー票を、CSキャビネットのダブルチェック反映済フォルダに保存する。
 - ③レビュー票が確定した箇所については、分科会三役からの新旧対比表の標準版提示以降、新旧対比表の作成を開始する。
 - ④作成した新旧対比表は、次回の分科会(7月12日か13日に開催)にて確認する。
可能であれば、8月下旬頃開催予定の火力専門委員会に改訂案の提案を行う。
ダブルチェックの結果反映において、分科会開催による審議が必要になった場合、6月に分科会を開催する。開催候補日は、6月19日(月)または、23日(金)。
*山下委員の担当分については、工事中と標示されている部分については、倉富幹事から、その部分の対応を山下委員に依頼する。ダブルチェック担当分については、樺田副主査と倉富幹事が分担して対応する。
- 変更箇所一覧の書式については、他分科会との調整後、書式が決まり次第ご連絡する。

(4)規格の活用について

前回のご意見を反映した見直し版について、次回以降議論する。

VI. 次回開催予定

- ・日時：2017年7月12日(水)または13日(木) 13時30分～
(開催日が決まり次第ご連絡。)
- ・場所：日本機械学会 会議室

*次回開催予定日より前に開催が必要になった場合、6月19日(月)または、23日(金)13:30～に開催する。場所は未定。

以 上